

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人 小城市社会福祉協議会

目 次

経理区分	No.	事業名	ページ
法人運営事業	1	理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催	1
	2	社協会費	2
	3	一般寄付金・香典返し寄付金の受付	3
	4	社協広報誌「社協だより(絆)」の発行	4
	5	日本赤十字社事務の協力	5
	6	赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金	6
地域福祉活動事業	7	民生委員児童委員連絡協議会への支援	7～8
	8	児童遊園地施設整備(新設・補修・撤去)助成	9
	9	新生児祝い品贈呈事業	10
	10	地域ふれあいサロン事業(各地区公民館で自主運営)	11
	11	弁護士無料法律相談の開設	12
	12	福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)	13
	13	ボランティアセンター事業	14～16
	14	学校ボランティア育成事業	17～18
	15	福祉教育推進事業	19～22
	16	支えあいセンター事業	23～24
	17	愛の一声運動推進事業	25
福祉資金貸付事業	18	生活福祉資金貸付事業	26
	19	福祉資金貸付事業	27
小城市受託事業	20	家事支援サービス事業	28
	21	元気アップ複合プログラム事業	29
	22	オレンジサロン事業(認知症初期)「オレンジサロン たいよう」	30
	23	障害者移送サービス事業	31～32
	24	ふれあいサロン事業	33
	25	子育て相互支援事業	34～35
	26	地域子育て支援拠点事業	36
	27	小城保健福祉センター「桜楽館」の管理・経営	37
	28	芦刈保健福祉センター「ひまわり」の管理・経営	38
	29	小城・多久障害者相談支援事業	39～40
	30	生活困窮者自立相談支援事業(生活自立支援センター)	41
	31	成年後見サポートセンター (成年後見制度利用促進に係る中核機関運営業務)	42
中部広域連合受託事業	32	南部地域包括支援センター事業(おたっしや本舗小城南)	43～45
介護保険事業	33	居宅介護支援事業	46

令和6年度 事業報告

事業名	理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催		
期 日	年間 理事会 3回、評議員会 1回、評議員選任・解任委員会 1回		
場 所	小城保健福祉センター「桜楽館」研修室		
参 加 者	理事、監事、評議員、 評議員選任・解任委員	担当者	事務局長、課長、係長、総務係
目 的	事業計画や予算など、本会の重要な方針を決定する。		
実施内容	<p>◆理事会</p> <p>①5月29日(水) (理事 9人、監事 2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長執務状況報告 ・法人指導監査の結果 ・定時評議員会の招集 ・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・定款の一部改正 ・令和6年度一般会計第1次補正予算 ・令和5年度事業報告及び一般会計決算報告 <p>②12月9日(月) (理事 8人、監事 2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規則の一部改正 ・臨時職員等就業規則の一部改正 ・再雇用に関する規程の一部改正 ・給与規程の一部改正 ・事務局に関する規程の一部改正 ・成年後見サポートセンター運営規程の制定 ・令和6年度一般会計第2次補正予算 <p>③3月24日(月) (理事 8人、監事2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長職務執行状況報告 ・法人指導監査の結果及び改善状況 ・役員等賠償責任保険の契約 ・育児・介護休業等に関する規程の一部改正 ・経理規程の一部改正 ・令和6年度一般会計第3次補正予算 ・令和7年度事業計画及び一般会計予算 <p>◆定時評議員会</p> <p>①6月14日(金) (評議員 15人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人指導監査の結果について ・定款の一部改正 ・令和5年度事業報告及び一般会計決算報告 <p>◆評議員選任・解任委員会</p> <p>①6月14日(金) (委員 5人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の補欠選任 		
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・小城市からの受託事業の名称変更や新規事業の開始に伴い定款の一部改正を行った。 ・「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」により令和7年度から「65歳までの雇用確保」が義務づけられたため規程の改正を行った。 		

令和6年度 事業報告

事業名	社協会費																							
期 日	普通会費(5月)、団体・賛助会費(通年)																							
依 頼 先	小城市内各区長、団体代表、企業・事業者代表																							
対 象	市内全世帯、各種団体、企業・事業所	担当者	総務係、各支所担当																					
実施内容	<p>1. 目 的 本会の事業推進に貴重な財源を「社協会員」である地域の皆様に納入していただき、社会福祉事業に参加していただく。</p> <p>2. 内 容 ・市内181行政区の区長へ依頼 ・一世帯あたり400円の戸別会費のお願いをする。 ・社協会費は、児童福祉・高齢者福祉・ボランティア活動支援・地域福祉サービス等に活用する。 ・賛助会費や団体会費を各種団体、企業・事業者をお願いする。</p> <p>3. 実 績</p> <p style="text-align: center;">【普通会員会費】一世帯 400円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;">世帯数</th> <th style="width: 30%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">小城町</td> <td style="text-align: center;">4, 116世帯</td> <td style="text-align: right;">1, 646, 400円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">三日月町</td> <td style="text-align: center;">3, 896世帯</td> <td style="text-align: right;">1, 558, 400円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">牛津町</td> <td style="text-align: center;">2, 712世帯</td> <td style="text-align: right;">1, 084, 800円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">芦刈町</td> <td style="text-align: center;">1, 570世帯</td> <td style="text-align: right;">628, 000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和6年度 合計</td> <td style="text-align: center;">12, 294世帯</td> <td style="text-align: right;">4, 917, 600円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年度 合計</td> <td style="text-align: center;">12, 292世帯</td> <td style="text-align: right;">4, 916, 600円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">【賛助会費】一口1, 000円(企業・事業者へ依頼) 令和6年度 188, 000円(34件) 令和5年度 182, 000円(32件)</p> <p style="margin-left: 20px;">【団体会費】一口1, 000円(市内の福祉団体へ依頼) 令和6年度 55, 000円(13団体) 令和5年度 56, 000円(13団体)</p>				世帯数	金 額	小城町	4, 116世帯	1, 646, 400円	三日月町	3, 896世帯	1, 558, 400円	牛津町	2, 712世帯	1, 084, 800円	芦刈町	1, 570世帯	628, 000円	令和6年度 合計	12, 294世帯	4, 917, 600円	令和5年度 合計	12, 292世帯	4, 916, 600円
	世帯数	金 額																						
小城町	4, 116世帯	1, 646, 400円																						
三日月町	3, 896世帯	1, 558, 400円																						
牛津町	2, 712世帯	1, 084, 800円																						
芦刈町	1, 570世帯	628, 000円																						
令和6年度 合計	12, 294世帯	4, 917, 600円																						
令和5年度 合計	12, 292世帯	4, 916, 600円																						
特記事項 (課題等)	・4月25日(木)に行われた区長会議において、納入依頼をした。また、賛助会費や団体会費について、企業や事業所、福祉団体に依頼を行った。																							

令和6年度 事業報告

事業名	一般寄付金・香典返し寄付金の受付																										
期 日	通年																										
対 象	市内全域	担当者	総務係、各支所担当																								
実施内容	<p>1. 目的 本会の福祉事業を推進する上で貴重な財源となっているので、本所・各支所で受付を行っている。</p> <p>2. 内容 香典返し寄付金及び一般寄付金の受付</p> <p>3. 実績</p> <p> 【香典返し寄付金】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年 度</th> <th style="text-align: center;">件 数</th> <th style="text-align: center;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和6年度</td> <td style="text-align: center;">214件</td> <td style="text-align: center;">3,641,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年度</td> <td style="text-align: center;">229件</td> <td style="text-align: center;">3,892,600円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">対前年比較</td> <td style="text-align: center;">15件の減</td> <td style="text-align: center;">251,600円の減</td> </tr> </tbody> </table> <p> 【一般寄付金】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年 度</th> <th style="text-align: center;">件 数</th> <th style="text-align: center;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和6年度</td> <td style="text-align: center;">6件</td> <td style="text-align: center;">225,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年度</td> <td style="text-align: center;">9件</td> <td style="text-align: center;">371,846円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">対前年比較</td> <td style="text-align: center;">3件の減</td> <td style="text-align: center;">146,846円</td> </tr> </tbody> </table> <p> 【香典返し寄付金へ弔慰品】 線香セット 令和6年度 延198個 令和5年度 延209個</p>			年 度	件 数	金 額	令和6年度	214件	3,641,000円	令和5年度	229件	3,892,600円	対前年比較	15件の減	251,600円の減	年 度	件 数	金 額	令和6年度	6件	225,000円	令和5年度	9件	371,846円	対前年比較	3件の減	146,846円
年 度	件 数	金 額																									
令和6年度	214件	3,641,000円																									
令和5年度	229件	3,892,600円																									
対前年比較	15件の減	251,600円の減																									
年 度	件 数	金 額																									
令和6年度	6件	225,000円																									
令和5年度	9件	371,846円																									
対前年比較	3件の減	146,846円																									
特記事項 (課題等)	<p>・香典返しや一般寄付金の件数は減少した。地域福祉活動を行う上で貴重な財源なので、これからも協力をお願いしていく。</p>																										

令和6年度 事業報告

事業名	社協広報誌「社協だより(絆)」の発行								
発行	年6回(奇数月)								
依頼先	市内各区長								
配布先	市内全戸、広告掲載事業所	担当者	広報委員、総務係						
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発								
実施内容	<p>1. 目的</p> <p style="padding-left: 20px;">広報誌で社協の事業や取り組みなどを紹介し、市民の地域福祉活動への理解を深めてもらう。</p> <p>2. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年6回(奇数月)発行。区長文書発送により、市内全戸へ配布。 ・社協事業、取組み事例、ボランティア情報、イベント情報等を掲載。 ・印刷代の一部は、赤い羽根共同募金配分金で行った。 <p>3. 発行日(年6回)</p> <p style="padding-left: 20px;">5月20日・7月19日・9月20日・11月20日・1月20日 3月19日</p> <p>4. 発行部数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">5・7月号</td> <td style="text-align: right;">各16,600部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">9・11月号</td> <td style="text-align: right;">各16,700部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1・3月号</td> <td style="text-align: right;">各16,800部</td> </tr> </table> <p>5. 広告費収入</p> <p style="padding-left: 20px;">50,000円×年5回=250,000円 20,000円×年1回= 20,000円</p> <p style="padding-left: 20px;">市内の福祉施設・医療機関・行政書士の広告を掲載。</p>			5・7月号	各16,600部	9・11月号	各16,700部	1・3月号	各16,800部
5・7月号	各16,600部								
9・11月号	各16,700部								
1・3月号	各16,800部								
特記事項(課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにも社協だよりを掲載し福祉情報を発信した。 ・これからも、イベントや活動状況報告を掲載し、福祉情報の提供を行い、社協活動の啓発を行っていく。 								

令和6年度 事業報告

事業名	日本赤十字社事務の協力														
期 間	会費募集期間 5月														
依 頼 先	小城市内各区長														
対 象 者	市内全世帯	担当者	総務係、各支所担当												
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>日本赤十字社は、国の内外において災害や紛争などによる被災者や難民を救援するため、医療救護班の派遣や資金・物資の提供など人道的事業の活動を行っている。これらの事業を実施するために日赤会費納入の協力を行う。</p> <p>2. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内181の行政区の区長へ依頼。 ・一世帯あたり 600円の日赤会費のお願いをする。 <p>3. 日赤会費実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年 度</th> <th style="width: 30%;">世帯数</th> <th style="width: 50%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>12, 183世帯</td> <td>7, 300, 010円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>12, 138世帯</td> <td>7, 282, 500円</td> </tr> <tr> <td>比 較</td> <td>45世帯の増</td> <td>17, 510円の増</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 災害・火災見舞金品の贈呈（火災 2件 2棟全焼）</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急セット 2組 毛 布 9枚 バスタオル 9枚 日赤県支部より火災見舞 全焼 20, 000円 			年 度	世帯数	金 額	令和6年度	12, 183世帯	7, 300, 010円	令和5年度	12, 138世帯	7, 282, 500円	比 較	45世帯の増	17, 510円の増
年 度	世帯数	金 額													
令和6年度	12, 183世帯	7, 300, 010円													
令和5年度	12, 138世帯	7, 282, 500円													
比 較	45世帯の増	17, 510円の増													
特記事項 (課題等)	・災害義援金受付窓口を設置中														

令和6年度 事業報告

事業名	赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金		
期 間	募金運動 10月～12月 配分事業: 通年		
依 頼 先	戸別募金 小城市内各区長 市内の企業・事業所、学校等の職域		
対 象 者	市内全世帯 企業・事業所、学校の従事者	担当者	各支所、総務係、ボランティア担当
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発		
実施内容	1. 実施内容 戸別募金 市内181の行政区の区長へ依頼。 一世帯あたり、赤い羽根共同募金 350円、 地域歳末たすけあい募金 100円をお願いする。 法人募金 口座振込での納入を依頼する。 学校・職域募金 資材購入等による募金の依頼する。		
	2. 募金実績		
	【赤い羽根共同募金】		
		令和6年度	令和5年度
	戸別募金	4,320,750円	4,319,000円
	法人募金	669,110円	696,450円
	資材・職域募金	502,928円	491,577円
	学校募金	173,756円	211,482円
	個人募金・利息他	187,056円	27,527円
	合 計	5,853,600円	5,746,036円
	※前年度より107,564円の増		
	【地域歳末たすけあい募金】		
		令和6年度	令和5年度
	戸別募金	1,234,000円	1,233,700円
	個人・団体	82,674円	84,516円
合 計	1,316,674円	1,318,216円	
※前年度より1,542円の減			
【地域歳末たすけあい募金 配分報告】			
市内全幼稚園・保育園へ遊具贈呈	264,470円		
地域ふれあいサロン助成金(28か所)	280,000円		
高齢者等の見守り活動謝礼品	62,010円		
子育てサロン(おもちゃ、ベビーカーなど)	164,692円		
新生児誕生祝絵本の贈呈	309,540円		
地域貸出用プロジェクター	177,980円		
生活支援のための食料品備蓄	60,313円		
合 計	1,319,005円		
特記事項 (課題等)	・令和6年度は、株式会社365(東京都)より150,000円の寄附をいただいた。 ・赤い羽根共同募金は、区長会や民生委員・児童委員、ボランティア協議会、各種団体などのご協力をいただいています。これからも、共同募金運動の必要性について、ご理解をいただけるよう周知を行っていく。		

令和6年度 事業報告

事業名	民生委員児童委員連絡協議会への支援
期 日	通年
担当者	総務係 増田、各単位民協担当 原、北川、井上、卯野木
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 民生委員・児童委員の活動支援
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>民生委員・児童委員92人(民生委員・児童委員84人、主任児童委員8人)相互の親睦を図り、民生委員信条に則り、地域福祉の健全な発展・向上に寄与する。</p> <p>2. 内容</p> <p>①民生委員・児童委員の資質向上を図るための研修会等の実施 ②地域福祉に関係ある行政機関及び諸団体との連絡、提携及び協力 ③民生委員・児童委員相互の親睦、連携を図るための事業 ④その他、目的達成のために必要な事業</p> <p>3. 活動内容</p> <p>(1)総会の開催 日時 4月18日(木) 場所 ゆめぷらっと小城「天山ホール」</p> <p>(2)市民協役員会 第1回 6月5日(水) 小城保健福祉センター「桜楽館」 第2回 8月7日(水) 〃 第3回 10月2日(水) 〃 第4回 12月4日(水) 〃 第5回 2月5日(水) 牛津町 菊前すし</p> <p>(3)研修会等</p> <p>①全体研修会(総会終了後) 日時 4月18日(木) 場所 ゆめぷらっと小城「天山ホール」 演題 「高齢者を狙う悪徳商法の手口とその対処法」 講話 消費生活相談員の会さが 理事 徳永智子 氏</p> <p>②心豊かな子どもを育てる運動研修会 日時 9月4日(水) 場所 小城保健福祉センター「桜楽館」多目的ホール 演題 「子どもたちの現状～シェルターの意義と活動～」 講師 佐賀子ども支援の輪 理事長 下津浦 公 氏</p>

	<p>③第93回全国民生委員児童委員大会 日時 11月20日(水)～21日(木) 場所 宮崎シーガイアコンベンションセンター(宮崎県宮崎市)</p> <p>④令和6年度 民生委員・児童委員セミナー 日時 2月25日(火) 場所 アバンセホール</p> <p>⑤主任児童委員研修会 日時 3月12日(水) 場所 アバンセホール</p> <p>⑥中堅民生委員・児童委員研修会 日時 3月26日(水) 場所 メートプラザ佐賀</p> <p>4. 各町単位民生委員児童委員協議会の運営 役員会、定例会、研修などの実施</p>
<p>特記事項 (課題等)</p>	<p>日々の民生委員・児童委員活動のため、総会終了後の研修会や心豊かな子どもを育てる運動研修会等各種研修会へ参加し、地域住民に寄り添う支援に必要な知識を学んだ。</p> <p>今後も各町の単位民児協事務局を通じて、より民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を支援し、連携を取りながら地域福祉の推進に努めてく。</p> <p>令和6年度総会 総会終了後の研修会</p>

令和6年度 事業報告

事業名	児童遊園地施設整備(新設・補修・撤去)助成															
期 日	通年															
場 所	小城市内全域															
担 当 者	地域福祉推進係 陣内															
実施内容	<p>1. 目 的</p> <p style="margin-left: 20px;">小城市内の区が管理する児童遊園地遊具の新設、補修及び撤去事業に対し、その経費の一部を助成することで児童の健全育成に寄与することを目的とする。</p> <p>2. 助成基準</p> <p style="margin-left: 20px;">①新設する場合は、総事業費の3分の2で30万円以内とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">②補修する場合は、総事業費の2分の1で8万円以内とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">③撤去する場合は、総事業費の2分の1で5万円以内とする。</p> <p>3. 実績(新設 0件、補修 3件、撤去 3件)</p> <table style="margin-left: 40px; width: 80%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">区分</th> <th style="text-align: left;">助成地区</th> <th style="text-align: right;">助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>補修</td> <td>三日月町:遠江、社 芦刈町:弁財</td> <td style="text-align: right;">222,000円</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>三日月町:袴田、甲柳原 芦刈町:八枝</td> <td style="text-align: right;">144,000円</td> </tr> <tr style="border-top: 1px solid black;"> <td colspan="2" style="text-align: center;">助成額計</td> <td style="text-align: right;">366,000円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	助成地区	助成額	新設		円	補修	三日月町:遠江、社 芦刈町:弁財	222,000円	撤去	三日月町:袴田、甲柳原 芦刈町:八枝	144,000円	助成額計		366,000円
区分	助成地区	助成額														
新設		円														
補修	三日月町:遠江、社 芦刈町:弁財	222,000円														
撤去	三日月町:袴田、甲柳原 芦刈町:八枝	144,000円														
助成額計		366,000円														
特記事項	<p>遊具の状況確認を行い、緊急性や危険性などを勘案し助成をしている。毎年度、一定の相談があり今後も必要な事業と考えられるため、共同募金等の財源確保に努める必要がある。</p>															
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; background-color: #d4edda; padding: 5px; text-align: center;"> 三日月町:遠江 ブランコ、鉄棒補修 </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #d4edda; padding: 5px; text-align: center;"> 芦刈町:弁財 すべり台、ブランコ等補修 </div> </div>															

令和6年度 事業報告

事業名	新生児祝い品贈呈事業
期 日	通年
配布場所	小城市役所 西館 市民課窓口
担当者	地域福祉推進係 大田黒・陣内
実施内容	<p>1. 目 的 新生児の健全な育成と親子の絆づくりを目的とする。</p> <p>2. 内 容 出生届の提出の際に、読んで聞かせたい絵本を贈呈する。</p> <p>3. 対象者 新生児の保護者</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p> <p>5. 市の窓口設置数 300冊(令和5年度 270冊)</p>
特記事項 (課題等)	<p>絵本の読み聞かせが、子どもの健全な発達を助長になることや親子の絆を深める大切な時間へと繋がる。</p> <p>第2子、第3子の誕生時にも対応できるように5種類の絵本を取り揃え、好きな絵本を選ぶことが出来るようにしている。</p> <p>令和7年度では、絵本のシリーズを一新し、喜ばれるようにしていきたい。</p>

令和6年度 事業報告

事業名	地域ふれあいサロン事業(各地区公民館で自主運営)						
期 日	通年						
開催場所	小城市内各地区 公民館						
対象者	各地区(自治会高齢者)、老人会等	担当	ふれあいサロン係 野田・中原・嘉村・秋山・深町				
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 交流の場の普及						
実施内容	<p>1. 目 的 各地区で、高齢者の通いの場(ふれあいサロン)をつくることで、住民同士のつながりと助け合い活動の普及をする。</p> <p>2. 内 容 各地区公民館へ出向き、介護予防・認知症予防や福祉・健康についての情報提供、レクリエーション活動、いきいき百歳体操の紹介などを行っている。 参加者から気がかり情報を聴き、関係機関と連携して支援を推進する。</p> <p>3. 実施地区 【令和6年度】</p>						
	実施地区	実施回数	参加者数	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町
	47地区	447回	3,121人	19地区	14地区	8地区	6地区
				172回	138回	76回	61回
				1,186人	885人	661人	389人
【令和5年度】							
実施地区	実施回数	参加者数	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	
48地区	529回	4,328人	19地区	14地区	9地区	6地区	
			211回	151回	99回	68回	
			1,472人	1,034人	1,354人	468人	
特記事項	<p>・未実施地区に開催案内を行い新規で開催される地区はあったが、高齢化による休止や世話役がいなくなり、自主から出前サロンへの移行する地区もあった。</p> <p>・ふれあいサロンの必要性は理解されても、自主的に運営を行っていく世話役(リーダー的存在)となる人が少なく、参加者の高齢化もあり、地区で主体的に取り組みやすい方法や考え方の支援・検討が必要だと思われる。</p>						

令和6年度 事業報告

事業名	弁護士無料法律相談の開設																							
期 日	通年	担当者	地域福祉推進係 大田黒・陣内 各支所担当者																					
開催場所	社会福祉協議会 各支所(月1回 各町まわし)																							
地域福祉 活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と 権利擁護の推進																							
実施内容	<p>1. 目的 家庭・金銭・相続・登記などの法律に関する困りごとや心配ごとに対し、弁護士が指導および助言を行い、その問題の解決又は解決の糸口となることを目的として開設する。</p> <p>2. 内容 1回につき6人まで(1人30分以内)を限度に、法律に関する困りごとに対して、小城市内に事務所を置く弁護士による法律相談支援を行う。</p> <p>3. 対象者 小城市内在住者</p> <p>4. 利用料 無料</p> <p>5. 主催 小城市社会福祉協議会</p> <p>6. 協力 法律事務所かくすけ、吉丸法律事務所</p> <p>7. 予算額 360,000円 (10,000円×3時間×12人)</p> <p>8. 相談実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;">開催回数</th> <th style="width: 30%;">相談者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城町</td> <td>3回</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>三日月町</td> <td>3回</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>3回</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>芦刈町</td> <td>3回</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>12回</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>12回</td> <td>65人</td> </tr> </tbody> </table>				開催回数	相談者数	小城町	3回	27人	三日月町	3回	16人	牛津町	3回	13人	芦刈町	3回	9人	令和6年度	12回	65人	令和5年度	12回	65人
	開催回数	相談者数																						
小城町	3回	27人																						
三日月町	3回	16人																						
牛津町	3回	13人																						
芦刈町	3回	9人																						
令和6年度	12回	65人																						
令和5年度	12回	65人																						
特記事項 (課題等)	前年度と同じく、継続相談時の利用者の利便性などを考慮し、小城市内で法律相談をされている弁護士の方に協力いただき事業を実施した。相談者は令和5年度と同等であった。																							

令和6年度 事業報告

事業名	福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)																														
期 日	通年																														
担 当 者	地域福祉推進係 陣内・大田黒																														
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援と権利擁護の推進																														
実施内容	<p>1. 目的 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が低下されている方を対象に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の援助などを行うことを目的として実施する。</p> <p>2. 事業の取り組み ①佐賀県社会福祉協議会からの受託事業 ②利用者の意思に基づいた支援計画書により、生活支援員が金銭の支払いや簡単な福祉サービスの利用手続きなどを支援する。</p> <p>3. 利用料</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○1時間以内</td> <td style="text-align: right;">1,200円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○以降30分毎に</td> <td style="text-align: right;">600円を加算</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○生活支援員の交通費</td> <td style="text-align: right;">37円/km</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○貸金庫(佐賀銀行小城支店)</td> <td style="text-align: right;">350円/月</td> </tr> </table> <p style="padding-left: 20px;">※生活保護世帯は利用料を免除</p> <p>4. 現在の状況(令和7年3月31日現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">契 約 件 数</td> <td style="text-align: center;">認知症高齢者</td> <td style="text-align: center;">2件</td> <td style="text-align: center;">(生活保護受給者 0件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知的障がい者</td> <td style="text-align: center;">5件</td> <td style="text-align: center;">(生活保護受給者 3件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">精神障がい者</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td style="text-align: center;">(生活保護受給者 4件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和6年度 新規契約</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">3件 (生活保護受給者 0件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和6年度 解 約</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">3件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年度末の生活支援員</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1人</td> </tr> </table> <p>5. 相談件数 延べ515件(令和5年度 648件) (認知症高齢者99件 知的障がい者185件 精神障がい者226件 その他5件)</p>	○1時間以内	1,200円	○以降30分毎に	600円を加算	○生活支援員の交通費	37円/km	○貸金庫(佐賀銀行小城支店)	350円/月	契 約 件 数	認知症高齢者	2件	(生活保護受給者 0件)	知的障がい者	5件	(生活保護受給者 3件)	精神障がい者	4件	(生活保護受給者 4件)	令和6年度 新規契約	3件 (生活保護受給者 0件)			令和6年度 解 約	3件			年度末の生活支援員	1人		
○1時間以内	1,200円																														
○以降30分毎に	600円を加算																														
○生活支援員の交通費	37円/km																														
○貸金庫(佐賀銀行小城支店)	350円/月																														
契 約 件 数	認知症高齢者	2件	(生活保護受給者 0件)																												
	知的障がい者	5件	(生活保護受給者 3件)																												
	精神障がい者	4件	(生活保護受給者 4件)																												
令和6年度 新規契約	3件 (生活保護受給者 0件)																														
令和6年度 解 約	3件																														
年度末の生活支援員	1人																														
特記事項	<p>判断能力に不安がある方にとっては、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理など必要な事業である。年々相談件数は、増加傾向にある。また、身寄りのない方の相談も多く、身寄りのない方の事業の検討や生活支援員等の担い手が不足している状況にある。</p> <p>この事業だけでは、解決できないこともあり、関係機関と連携し支援を進めていく必要がある。</p>																														

令和6年度 事業報告

事業名	ボランティアセンター事業
期 日	通年
担 当 者	地域福祉推進係 井上・松尾
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 ボランティア活動の推進
実施内容	<p>1. 目 的</p> <p>小城市内におけるボランティア活動を推進するため、あらゆる機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民のニーズを積極的に開拓する。また、活動にあたって必要な援助を行うことにより、いつでも、どこでも、誰でも、ボランティア活動に参加できる体制の整備に努め、もって地域における福祉コミュニティの形成を図る。</p> <p>2. 内 容</p> <p>〈ボランティア情報〉</p> <p>社協だより「絆」(年6回発行)に現在のボランティアグループの情報や新登録グループの情報、イベント情報などを掲載し、普及啓発を図る。</p> <p>〈ボランティアの拠点づくり〉</p> <p>各町にボランティアルームを設置し、ボランティア活動の推進を図る。</p> <p>〈相談・登録・斡旋〉</p> <p>内容 ボランティア活動上の調整、施設への派遣依頼、学校への派遣依頼・調整、個人対応のボランティア派遣依頼・調整などボランティア活動の内容、見学等</p> <p>斡旋 延べ64件 (サロン3件、学校30件、児童クラブ26件、施設3件、地域2件)</p> <p>〈24時間テレビチャリティー募金活動支援〉</p> <p>新型コロナウイルス感染対策を行いながら、街頭募金や募金箱設置による活動を行うことができた。</p> <p>小城中学校 (活 動 日) 8月31日(土) (活動場所) セブンイレブン佐賀小城中央店 スーパーモリナガ小城店</p> <p>三日月中学校 (活 動 日) 8月31日(土) (活動場所) ザ・ビッグ三日月店</p>

<p>実施内容</p>	<p>芦刈中学校 (活動日) 8月31日(土) (活動場所) セブンイレブン小城芦刈インター店</p> <p><講座開催> ○生活支援ボランティア養成講座 地域の高齢者の生活上の困りごとを解決するボランティアの養成および現在活動されているボランティアのスキルアップを図る。 (開催日) 7月11日(木)、10月18日(金)、10月23日(水) 10月25日(金)、11月7日(木)、11月12日(火) 11月27日(水) (参加者) 延べ 74人</p> <p><小城市ボランティア連絡協議会 事務局業務> 小城市ボランティア連絡協議会事務局として、各団体の活動推進に寄与する。 登録グループ数 44グループ 515人(個人ボランティア含む) ・小城支部 誕生日訪問 ・三日月支部 地区の高齢者への敬老祝い、放課後児童クラブ交流会 (高齢者へは会員手作りの折り紙で作成した兜、児童へはクッキーを配付) ・ボランティアフェスタ 11月29日(金) 三日月体育館でパラスポーツ ボッチャを通して、会員相互の交流を図る。また、普段接することがない他町のボランティアの方とのボランティア活動に関する意見交換を図る。</p> <p><ボランティア保険取扱業務> ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償を取扱い、ボランティア活動時の事故等に備える。 加入者数 活動保険(延べ 392人)、行事用保険(24件 延べ 730人)</p>
<p>特記事項 (課題等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度も昨年度に引き続き、学校や地域、児童クラブ等からのボランティア派遣依頼が増加傾向にあった。 ・養成講座等は感染症対策を徹底し開催した。 ・ボランティア連絡協議会総会はボランティア会員の参加で開催した。ボランティアフェスタはパラスポーツを取り入れ、多くの会員の参加を得て実施することができた。 ・今年度は登録ボランティア数は減っていないものの、感染症等の影響で活動先がなく、会員のモチベーションが低下している。ボランティアセンターとしても昨年に引き続き、ボランティア活動の意義や楽しさを再確認していただく機会を提供し、再度ボランティア活動が盛り上がるように努めていきたい。

生活支援ボランティア養成講座

24時間テレビ
チャリティー募金

ボランティアフェスタ

令和6年度 事業報告

事業名	学校ボランティア育成事業
担当者	地域福祉推進係 井上、松尾
地域福祉 活動計画	<p>基本目標 みんなで支える地域づくり</p> <p>基本施策 福祉啓発と福祉啓発の推進</p>
実施内容	<p>1. 目的</p> <p> 少子高齢化の急速な進展に加え、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が進む中、市民が安心・安全に豊かに生活ができるように、地域社会で顔なじみになり、お互い支え合いの仕組みを構築することが重要である。</p> <p> そのため次代を担う、児童・生徒に対し、福祉教育の充実とボランティア活動(市民活動)の機会や地域の人との交流を深め、たくましく豊かな心を育むことを目的とする。</p> <p>2. 内容</p> <p> 市内の小・中学校及び高等学校14校をボランティア活動協力校に指定し、各学校独自に計画したプログラムを実施するための費用を助成する。</p> <p> また、社会福祉協議会として各学校のプログラムに協力し、高齢者・障がい者の理解につながる支援・指導を行う。</p> <p>3. 参加対象者</p> <p> 市内小・中学校及び高等学校のボランティア担当教諭および児童・生徒</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p> <p>5. 予 算 550,000円(活動助成金)</p>
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ボランティア連絡会は学校側に聞き取りを行ったところ、説明がなくても手続きを進められる学校が多かったため、書類の送付をもって申請受付とした。 ・どの学校も意欲的に活動しておられ、児童生徒の自主的な活動が行われているところが増えてきている。

令和6年度 小城市学校ボランティア育成事業協力校 助成金交付一覧

学校名	助成額	主な活動
桜岡小学校	40,000円	花の植え替え、募金活動、小城ルーテルこども園・ゆめぷらっとへのプランタープレゼント
岩松小学校	40,000円	テープの巻き芯集め、募金活動、環境美化活動 校内清掃、ふれあい交流(いわまつ保育園)
晴田小学校	40,000円	花いっぱい運動、募金活動、 幼稚園、晴田支館へのプランタープレゼント
三里小学校	40,000円	花いっぱい運動、環境美化活動、全校クリーンタイム 回収活動、三里支館・保育園へのプランタープレゼント
三日月小学校	30,000円	福祉体験学習、環境美化活動、募金活動
牛津小学校	40,000円	環境美化活動、募金活動、アルミ缶回収
砥川小学校	40,000円	環境美化活動、募金活動、ウォールアート 石工の里保存を訴えるカレンダー作りと募金活動
芦刈観瀾校小学部	40,000円	ベルマーク回収、能登半島地震支援活動 こども園、ひまわりとの交流
小城中学校	40,000円	花いっぱい運動、共同募金 24時間テレビチャリティー募金
三日月中学校	40,000円	ボランティア清掃活動、花いっぱい運動、募金活動 24時間テレビチャリティー募金活動 地域のイベントでの清掃活動
牛津中学校	40,000円	ペットボトル回収、赤い羽根共同募金、花いっぱい 運動、特別養護老人ホームへ花の贈呈
芦刈観瀾校中学部	40,000円	ダルニー奨学金、ワールドギフト、回収活動 国際子ども友好協会の支援物資回収 24時間テレビチャリティー募金
小城高等学校	40,000円	募金活動、地域の河川清掃(春・秋)、小城駅清掃 町内イベント伝い
牛津高等学校	40,000円	スクールプロジェクト、SDGs活動 収穫した野菜をこども食堂へ寄付、季節だより濁世
計	550,000円	

令和6年度 事業報告

事業名	福祉教育推進事業
担当者	地域福祉推進係 井上、松尾
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 福祉の啓発と福祉教育の推進
実施内容	<p>1. 目的</p> <p> 少子高齢化の急速な進展に加え、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が進む中、市民が安心・安全に豊かに生活ができるように、地域社会で顔なじみになり、お互い支え合いの仕組みを構築することが重要である。</p> <p> その中で高齢者や障がい者、支援者とともに、学齢期における福祉についての学びを深めることで、排除しない地域共生社会づくりに努めることを目的とする。</p> <p>2. 内容</p> <p> 小城市人権擁護委員や障がい当事者、障がい者の支援を行うボランティアグループなどと協力し作ったプログラム(導入～体験～振り返りまとめ)を小城市内小・中学校へ配付し、希望される学校へ出向き、学びの授業を行う。(各単元の講師は社協、ボランティアで行う。)</p> <p>3. 参加対象者 市内小・中学校 児童・生徒</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p>
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、全社協主催の全国福祉教育推進員研修を通じて、社協が行う福祉教育が進められており、佐賀県においても「福祉教育実践研究会」が開催されている。小城市では障がい者への間違った理解(障がい者は何もできない、かわいそうといった理解)につながらないように、福祉概念の理解や当事者本人による講話や体験を通して学ぶことができるプログラムを作成し、福祉教育を進めている。 ・令和6年度も昨年度に引き続き、各講座の講師が独自に考え、受け持つ内容がより充実するように実施していただいた。 ・今回も学校側へ案内を行い、実施を希望する学校を対象に行った。各種講座に民生委員・児童委員や地域のボランティアに参加していただくことで、子どもたちだけではなく、地域福祉の理解にも努めている。

福祉教育推進事業 プログラム

項目	目的・内容	講師
【導入】 地域に住む人の暮らしを知る	【講話・グループワーク】 地域には様々な人(子どもや高齢者、障がい者)と一緒に暮らしていること、人とは感じ方、考え方が違うことを知り、他者を思いやれるようになること。	社協 人権擁護委員
【理解】 日常生活の困りごとを知る。	【講話・交流・体験】 ろうあ者・ボランティアが学校へ訪問し、耳が聞こえない中での生活や困りごと、健常者と変わらず出来ることなどを聞き、交流することで、障がい者に対する理解を深める。	社協 障がい当事者 ボランティアグループ
【体験】 日常生活での障がい者体験を行う。	【講話・体験活動】 ①視覚障がい者の生活体験(講話・アイマスク体験) ②身体障がい者の生活体験(講話・車いす体験) ③障がい者スポーツ体験(講話・ボッチャ体験) ④地域の高齢者との交流(高齢者宅訪問)	社協 障がい当事者 ボランティアグループ 佐賀県パラスポーツ協会 民生委員・児童委員
【振り返り】 振り返り発表会	【振り返り】 これまでの講話、体験で感じたこと、これから行えることなどをまとめ発表することで、子ども自身の学びをさらに深める。	これまでの講師

人権についての講話

福祉についての講話

障がい者スポーツ(ボッチャ)

視覚障がい者の生活体験

身体障がい者の生活体験

高齢者と交流(昔遊び)

令和6年度 実施校

学校名	期 日	内 容	講 師
桜岡小学校	6月6日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	6月11日	ろうあ者の生活についての講話 手話教室	社協 小城市手話サークル
	6月17日	パラスポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
	6月19日 6月24日	視覚障がい者の生活体験 (アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	6月27日	身体障がい者の生活体験(車いす)	社協 地域のボランティア
岩松小学校	5月14日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	5月28日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	6月7日	視覚障がい者の生活体験 (アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	6月21日	身体障がい者の生活体験(車いす)	社協 地域のボランティア
	7月5日	パラスポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
	7月12日	地域の高齢者との交流	社協 小城町民生委員・児童委員
晴田小学校	6月6日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	6月12日	視覚障がい者の生活体験 (アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	6月21日	身体障がい者の生活体験(車いす)	社協 地域のボランティア
	6月27日	パラスポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
	7月2日	ろうあ者の生活についての講話 手話教室	社協 小城市手話サークル
	7月9日	振り返り発表会	社協

学校名	期 日	内 容	講 師
三日月小学校	10月3日	福祉・人権について講話	社協 人権擁護委員
	10月11日	視覚障がい者の生活体験 (アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	10月21日	身体障がい者の生活体験(車いす)	社協 地域のボランティア
	11月19日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	11月25日	パラスポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
	12月9日	地域の高齢者との交流	社協 三日月町老人クラブ 三日月町民生委員・児童委員
牛津小学校	10月8日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	10月15日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	11月5日	身体障がい者の生活体験(車いす)	社協 地域のボランティア
	11月14日	パラスポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
	11月26日 11月28日	視覚障がい者の生活体験 (アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
砥川小学校	6月28日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	6月28日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	7月2日	身体障がい者の生活体験(車いす)	社協 地域のボランティア
	7月12日	視覚障がい者の生活体験 (アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア

令和6年度 事業報告

事業名	支えあいセンター事業
期 日	通年
担 当 者	地域福祉推進係 井上・嘉村
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進
実施内容	<p>1. 目 的</p> <p>一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等の方を対象に、買い物代行やゴミ出しといった生活上のちょっとしたお困りごとや介護保険では対応できないニーズに対して、地域のボランティアの支援で解決することで、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、利用者とボランティアをつなぎ、住民相互の助け合いを推進する。</p> <p>支えあいセンター活動はチケットによる有償ボランティア活動として運営する。(令和7年度からはチケット制を廃止する。)</p> <p>2. 内 容</p> <p>〈利用者登録〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小城市内にお住まいの一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方を対象に、センター利用について説明し、登録を受け付ける。 ・支えあいチケットを販売する。(1枚100円、10枚綴り) <p>〈協力ボランティア登録〉</p> <p>支えあい活動に興味のある方の申し込みを受け付け、ボランティア登録を推進する。</p> <p>〈調整〉</p> <p>利用者からの申し出を受け、希望日に沿うようボランティアへ連絡し調整を図る。</p> <p>〈活動および報告〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動終了後は、ボランティアより電話連絡をいただくことで活動を把握している。 ・支えあい活動は10分以内100円で行う。(令和2年4月より)
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は事故なく生活支援ボランティア活動を行うことができた。 ・支援内容別では付き添い支援が最も多く利用されている。 ・令和6年3月18日にボランティア向けに説明会を行い、様々な意見を聴くことができた。令和7年度からはチケット制を廃止し、利用者から利用料を直接協力ボランティアに渡していただくように変更した。

支えあいセンター活動状況

○活動状況

(単位：件)

町名		月												合計	令和5年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小 城 町	買い物	16	15	11	4	5	3	3	8	13	9	7	9	103	164
	ゴミ出し	22	22	25	27	25	27	16	21	16	18	14	23	256	298
	付き添い	22	25	15	11	14	11	10	7	9	6	8	6	144	238
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
三 日 月 町	買い物	5	7	4	6	5	2	5	4	1	0	0	0	39	34
	ゴミ出し	20	16	16	14	11	12	12	12	13	12	11	12	161	200
	付き添い	17	20	22	20	14	17	19	17	17	15	8	11	197	276
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
牛 津 町	買い物	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1	4	9	4
	ゴミ出し	16	19	19	25	22	23	23	17	17	13	14	14	222	176
	付き添い	25	27	27	34	26	33	42	33	39	33	37	32	388	302
	その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5
芦 刈 町	買い物	0	0	0	0	0	0	3	5	4	6	7	4	29	1
	ゴミ出し	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	10	17
	付き添い	10	7	10	11	6	9	8	8	8	4	3	5	89	89
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	買い物	21	22	15	10	11	6	11	18	19	15	15	17	180	203
	ゴミ出し	58	57	60	66	58	62	51	52	48	45	41	51	649	686
	付き添い	74	79	74	76	60	70	79	65	73	58	56	54	818	904
	その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15
令和6年度合計													1,649	1,808	

○登録状況

(単位：人)

町名	種 別	令和6年度	令和5年度
小 城 町	利用者	60	57
	協力ボランティア	29	29
三 日 月 町	利用者	37	37
	協力ボランティア	17	17
牛 津 町	利用者	59	44
	協力ボランティア	25	22
芦 刈 町	利用者	20	15
	協力ボランティア	10	11
合 計	利用者	176	153
	協力ボランティア	81	79

令和6年度 事業報告

事業名	愛の一声運動推進事業																				
期 日	通年	訪問連絡員数	136人																		
担当者	ボランティア・ささえあいセンター係 井上、各支所担当																				
地域福祉 活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進																				
実施内容	<p>1. 目的 ひとり暮らし高齢者の生活状況を常時把握し、孤立感を慰め、日常生活の安全を確保する。</p> <p>2. 内容 訪問連絡員を設置し、担当世帯を定期的に訪問し対象者の話し相手や相談相手になり、生活及び健康状態を観察し、必要に応じて民生委員・児童委員などに連絡する。 令和6年度より小城市としての事業実施がなくなり、社協の自主事業として引き続き見守り活動を行っていく。</p> <p>3. 対象者 概ね65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみ世帯</p> <p>4. 協 力 訪問連絡員、民生児童・児童委員 ※()は令和5年度</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 35%;">訪問対象者</th> <th style="width: 35%;">訪問連絡員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城市</td> <td>47人(54人)</td> <td>46人(50人)</td> </tr> <tr> <td>三日月町</td> <td>44人(46人)</td> <td>39人(40人)</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>24人(26人)</td> <td>20人(22人)</td> </tr> <tr> <td>芦刈町</td> <td>17人(26人)</td> <td>16人(24人)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>132人(152人)</td> <td>121人(136人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(研修会) 令和6年度から生活支援ボランティア養成講座を愛の一声訪問員研修として実施した。 全6回講座ですべてに来られる方もおられ、高齢者の見守りに関する知識や緊急時の対応を学んでいただいた。</p>				訪問対象者	訪問連絡員	小城市	47人(54人)	46人(50人)	三日月町	44人(46人)	39人(40人)	牛津町	24人(26人)	20人(22人)	芦刈町	17人(26人)	16人(24人)	計	132人(152人)	121人(136人)
	訪問対象者	訪問連絡員																			
小城市	47人(54人)	46人(50人)																			
三日月町	44人(46人)	39人(40人)																			
牛津町	24人(26人)	20人(22人)																			
芦刈町	17人(26人)	16人(24人)																			
計	132人(152人)	121人(136人)																			
特記事項 (課題等)	・全地区に共通して訪問連絡員が減少している。これはひとり暮らし登録の際、高齢者本人からまだ見守りは必要ないとの申し出で連絡員を希望されないケースが多いためと思われる。																				

令和6年度 事業報告

事業名	生活福祉資金貸付事業		
期 日	通年		
受付場所	小城市社会福祉協議会 本所		
対 象 者	低所得世帯や障がい者世帯等	担当	生活自立支援センター相談員
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進		
実施内容	1. 目的 低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。		
	2. 内 容 佐賀県社会福祉協議会が実施する貸付事業の相談受付及び申請。		
	3. 実 績 相談件数		
		令和6年度	令和5年度
	総合支援資金	5件	3件
	福祉費	7件	11件
	教育支援資金	5件	10件
	療養・介護	0件	0件
	緊急小口	21件	20件
	臨時特例つなぎ資金	0件	0件
不動産担保型生活資金	0件	0件	
特例貸付 緊急小口資金 (免除・猶予等相談含む)	95件	69件	
特例貸付 総合支援資金	0件	0件	
合計	133件	113件	
	申請・貸付件数		
	令和6年度	令和5年度	
申請件数	2件	0件	
貸付件数	2件	0件	
特記事項 (課題等)	・特例貸付の償還が開始となり、償還困難な借受人からの相談が多く、対応可能な手続き(償還免除・猶予)を案内した。個々の状況に応じて、家計改善支援事業やハローワーク、福祉事務所との連携など、今後の生活再建に向けて必要な支援を行う必要がある。		

令和6年度 事業報告

事業名	福祉資金貸付事業																	
期 日	通年																	
受付場所	小城市社会福祉協議会 各支所																	
対 象 者	低所得世帯や障がい者世帯等	担当	生活自立支援センター相談員 各支所担当者															
地域福祉活動計画	<p>基本目標 気軽に相談できる環境づくり</p> <p>基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進</p>																	
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>小城市社会福祉協議会が、低所得世帯、障害者世帯及び母子世帯に対して資金の援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長を促進し安定した生活を営むことを目的とする。</p> <p>2. 内容</p> <p>生活、葬祭、医療及び就学支度に必要な資金を限度額50,000円まで貸付けることができる。ただし、借入申請者は小城市内に居住する連帯保証人を付け、所定の借入申請書を担当地区の民生委員を通じて、小城市社会福祉協議会に提出する。</p> <p>3. 実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 30%;">令和6年度</th> <th style="width: 30%;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>11件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>貸付件数</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>貸付金額</td> <td>70,000円</td> <td>126,340円</td> </tr> <tr> <td>償還金額</td> <td>59,960円</td> <td>106,380円</td> </tr> </tbody> </table>				令和6年度	令和5年度	相談件数	11件	11件	貸付件数	2件	3件	貸付金額	70,000円	126,340円	償還金額	59,960円	106,380円
	令和6年度	令和5年度																
相談件数	11件	11件																
貸付件数	2件	3件																
貸付金額	70,000円	126,340円																
償還金額	59,960円	106,380円																
特記事項 (課題等)	相談者の状況をしっかり把握し、個々の状況に応じて、生活自立支援センターにて支援を行い、家計改善支援事業の活用やハローワークと連携した就労支援などを行っている。																	

令和6年度 事業報告

事業名	家事支援サービス事業		
期 日	通年		
場 所	小城市全域		
対 象 者	虚弱な一人暮らし高齢者等	担当者	地域生活支援課 卯野木 ・ 内川
地域福祉 活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進		
軽度生活支援 実施内容	<p>1. 目的 在宅の概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯等へ軽易な日常生活上の支援を行うことにより、住み慣れた自宅で自立した生活を継続するとともに、要介護状態への防止を図ることを目的として実施する。</p> <p>2. 内容 ①食事、食材の確保、調理支援 ②衣類等の洗濯 ③家屋内の整理整頓、掃除 ④その他軽易な日常生活上の支援 ⑤市役所や包括支援センター等への情報提供や相談等</p> <p>3. 対象者 介護保険の要支援・要介護認定を受けていない概ね65歳以上の高齢者で、心身状態が低下し支援が必要な方。 (ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯で市に申請後該当された方)</p> <p>4. 利用料 300円/時間 (超過30分毎150円) 生活保護世帯は半額</p> <p>5. 利用延人数 令和 6年度年間 66人 (実人員9人→4人) 令和 5年度年間 111人 (実人員 10人)</p> <p>6. 利用延回数 令和 6年度年間 233回 令和 5年度年間 430回</p>		
特記事項 (課題等)	<p>R6年度末で終了した事業のため、利用者の生活に支障が出ないようにサービス終了後の支援サービスについて説明を行った。</p> <p>また、支えあいセンターの利用や介護保険事業など民間の行っている福祉サービス等についても説明等を行い、3月末までに登録されていた利用者について介護保険の申請を行ったり、担当地区の地域包括支援センターに引き継いだ。</p>		

令和6年度 事業報告

事業名	元気アップ複合プログラム事業																						
期 日	通年	担当者	地域生活支援課 陣内 古賀																				
場 所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」																						
参加人員	延べ 稼働 199日 延べ 2,199人（1日平均 11.1人） （令和5年度 稼働 197日 延べ 1,991人 1日平均 10.1人）																						
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本方針 交流の場の普及																						
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>小城市が定めた特定高齢者等に対し、積極的に筋力向上や生きがい活動を行い、生活機能の低下を防ぎ、要支援・要介護状態になることを予防する。 また、定期的な交流の場を提供することにより、閉じこもりを防止し、高齢者ができる限り自立した生活を営むことができるよう支援する。</p> <p>2. 登録者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">地区名</th> <th style="width: 12.5%;">男性</th> <th style="width: 12.5%;">女性</th> <th style="width: 12.5%;">令和6年度</th> <th style="width: 12.5%;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦刈町</td> <td>1人</td> <td>22人</td> <td>23人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>4人</td> <td>47人</td> <td>51人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5人</td> <td>69人</td> <td>74人</td> <td>45人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 体操、認知症予防、レクリエーション活動、手芸活動、園芸活動、調理実習 ② 芦刈町ひな祭り会・文化祭参加 ③ 桜見物、買い物(春、秋)、梅林見物、国民スポーツ大会観戦 ④ ボランティア団体・幼稚園・小学生 交流会 ⑤ 消防訓練参加 			地区名	男性	女性	令和6年度	令和5年度	芦刈町	1人	22人	23人	16人	牛津町	4人	47人	51人	29人	合 計	5人	69人	74人	45人
地区名	男性	女性	令和6年度	令和5年度																			
芦刈町	1人	22人	23人	16人																			
牛津町	4人	47人	51人	29人																			
合 計	5人	69人	74人	45人																			
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の活動充実のため、外部交流やイベント等の機会を設けていく。 ・自立した在宅生活が継続できるよう、各関係機関と連携し、介護予防・認知症予防・閉じこもり予防を促進していく。 ・地域のサロンや敬老会等に出向き、利用者増に向けた周知活動を行っていく。 ・自立した元気な利用者が増えている一方で、以前から利用されている利用者との能力に差が出始めている。 																						

事業名	オレンジサロン事業(認知症初期)「オレンジサロン たいよう」																						
期 日	通年	担 当 者	地域生活支援 陣内 古賀																				
場 所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」																						
参加人員	延べ 稼働 24日 延べ 133人 (1日平均 5.5人) (令和5年度 延べ 稼働 23日 延べ 77人 1日平均 3.2人)																						
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本方針 交流の場の普及																						
実施内容	<p>1. 目 的</p> <p>認知症初期の人の交流・活動の場とし、正しい知識や適切な支援を提供することで、住み慣れた地域で安心して尊厳のある生活を継続でき、また認知症初期の人の家族の介護負担の軽減を図ることを目的とする。</p> <p>2. 登録者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>男 性</th> <th>女 性</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦刈町</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>2人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2人</td> <td>8人</td> <td>10人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 活動内容</p> <p>①体操、レクリエーション活動、手芸活動、園芸活動 ②芦刈町ひな祭り会・文化祭参加 ③野外活動(年4回) 桜見物、買い物(春、秋)、梅林見物</p>			地区名	男 性	女 性	令和6年度	令和5年度	芦刈町	0人	3人	3人	1人	牛津町	2人	5人	7人	6人	合 計	2人	8人	10人	7人
地区名	男 性	女 性	令和6年度	令和5年度																			
芦刈町	0人	3人	3人	1人																			
牛津町	2人	5人	7人	6人																			
合 計	2人	8人	10人	7人																			
特記事項 (課題等)	<p>・少人数だからこそ取り組むことのできる創作活動や外出支援、イベント等の機会を設けていく。</p> <p>・住み慣れた地域で安心して生活できることや家族の介護負担軽減のためにも本人、家族、各関係機関と連携し、支援を行っていく。</p>																						

令和6年度 事業報告

事業名	障害者移送サービス事業		
期 日	通年 8時30分から17時(土日、祭日、年末年始を除く)		
移送の範囲	佐賀中部広域連合構成市町内で、運送の発地又は着地のいずれかが小城市内であること。		
年間利用者	延べ 824人 (令和5年度 934人)	担当者	地域生活支援課 卯野木 ・ 橋本
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進		
実施内容	<p>1. 目的</p> <p style="padding-left: 2em;">何らかの理由により移動に困難を伴う人、公共交通機関を使用するのが困難な人に対して、車両を使って外出の支援を行う。</p> <p>2. 利用できる方</p> <p style="padding-left: 2em;">小城市内に住所を有する方で、次の要件を満たす方。</p> <p style="padding-left: 4em;">※障がい者の方（身体・療育・精神の各手帳所持が原則）や介護保険の要介護認定を受けた方で、市の利用要件に該当され、かつ公共交通機関を利用することが困難な方。</p> <p style="padding-left: 2em;">※令和7年3月末で42 人登録（ 8人増 9人減）</p> <p>3. 利用料</p> <p style="padding-left: 2em;">タクシー料金の概ね半額程度で、待機料金は10分毎に100円が必要。</p> <p>4. 利用目的</p> <p style="padding-left: 2em;">①病気治療(通院・リハビリ)</p> <p style="padding-left: 2em;">②買い物</p>		
特記事項 (課題等)	<p>・R6年1月九州運輸局より自家用有償旅客運送者が収受する対価の取り扱いについて、当該地域に適用されるタクシー運賃の約8割で実費の範囲内と公示された。このことより、小城市役所と協議の上、対価変更について検討し、タクシー料金の半額程度へ値上げを行った。また、R6年9月より人工透析目的で通院の場合に限り、料金の4分の1を佐賀県の補助金交付申請し、利用者の負担軽減に努めた。この補助金交付事業については R7年度も継続していく。</p>		

令和 6 年度 障害者移送サービス事業実績報告書

1. 利用実績

当初登録者数	年度中の増減	年度末登録者数	備 考
43人	△1人(8人増 9人減)	42人	毎年更新の確認実施

2. 月別利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	87件	76件	54件	59件	59件	78件	
料金	58,740円	50,780円	38,140円	43,220円	42,440円	48,740円	
距離	452.7km	385.9km	295.5km	337.6km	331.0km	366.1km	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	87件	73件	65件	57件	50件	79件	824件
料金	56,800円	48,600円	40,640円	46,220円	41,420円	57,070円	572,810円
距離	420.7km	351.3km	302.0km	365.8km	329.0km	444.5km	4382.1km

＜令和 5 年度計＞ 934件 702,920円 5364.6km

3. 事故件数 事故件数 0 件

4. 苦情件数 苦情件数 0 件

5. 利用目的別の件数 ※()内は令和 5 年度実績

目 的	件 数	目 的	件 数
研修会等への参加	0件(0件)	冠婚葬祭への参加	0件(0件)
レクリエーション	0件(0件)	公共機関への移送	8件(1件)
病院・施設入退院	793件(901件)	その他	18件(22件)
買い物等	5件(10件)	計	824件(934件)

6. 身体状況、態様別の件数 ※()内は令和 5 年度実績

状況・態様	件 数
身体障がい者	696件(789件)
要介護	76件(73件)
療育・精神	52件(72件)
計	824件(934件)

令和6年度 事業報告

事業名	ふれあいサロン事業																																																																																	
期 日	通年																																																																																	
場 所	小城市全域																																																																																	
対 象 者	各地区の概ね65歳以上の方 (65歳未満の方も協力員として参加可)	担当者	ふれあいサロン係 野田・中原・嘉村・秋山・深町																																																																															
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 交流の場の普及																																																																																	
実施内容	<p>1. 目 的 家に閉じこもりがちな高齢者等へ自らが生きがいを見つけ、地域とのつながりを保ち、自立した在宅生活を確保することを支援する。</p> <p>2. 内 容 各地区の公民館へ出向き、介護予防・認知症予防の体操やレクリエーションの紹介、健康や福祉についての情報提供をする。</p> <p>3. 実施地区 【令和6年度】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施地区</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> <th>小城市</th> <th>三日月町</th> <th>牛津町</th> <th>芦刈町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">20地区</td> <td rowspan="3">201回</td> <td rowspan="3">983人</td> <td>6地区</td> <td>5地区</td> <td>4地区</td> <td>5地区</td> </tr> <tr> <td>42回</td> <td>55回</td> <td>47回</td> <td>57回</td> </tr> <tr> <td>141人</td> <td>250人</td> <td>270人</td> <td>322人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【令和5年度】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施地区</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> <th>小城市</th> <th>三日月町</th> <th>牛津町</th> <th>芦刈町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">20地区</td> <td rowspan="3">206回</td> <td rowspan="3">1,028人</td> <td>4地区</td> <td>6地区</td> <td>4地区</td> <td>6地区</td> </tr> <tr> <td>37回</td> <td>62回</td> <td>47回</td> <td>60回</td> </tr> <tr> <td>108人</td> <td>281人</td> <td>291人</td> <td>348人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【令和6年度】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施か所</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> <th>桜楽館 月・水・金</th> <th>ゆめりあ 開催なし</th> <th>アイル 水曜日</th> <th>ひまわり 開催なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">2か所</td> <td rowspan="2">136回</td> <td rowspan="2">1,038人</td> <td>96回</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> <td>40回</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>885人</td> <td>153人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【令和5年度】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施か所</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> <th>桜楽館 月・水・金</th> <th>ゆめりあ 開催なし</th> <th>アイル 水曜日</th> <th>ひまわり 開催なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">2か所</td> <td rowspan="2">53回</td> <td rowspan="2">302人</td> <td>19回</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> <td>34回</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>196人</td> <td>106人</td> </tr> </tbody> </table>						実施地区	実施回数	参加者数	小城市	三日月町	牛津町	芦刈町	20地区	201回	983人	6地区	5地区	4地区	5地区	42回	55回	47回	57回	141人	250人	270人	322人	実施地区	実施回数	参加者数	小城市	三日月町	牛津町	芦刈町	20地区	206回	1,028人	4地区	6地区	4地区	6地区	37回	62回	47回	60回	108人	281人	291人	348人	実施か所	実施回数	参加者数	桜楽館 月・水・金	ゆめりあ 開催なし	アイル 水曜日	ひまわり 開催なし	2か所	136回	1,038人	96回	/	40回	/	885人	153人	実施か所	実施回数	参加者数	桜楽館 月・水・金	ゆめりあ 開催なし	アイル 水曜日	ひまわり 開催なし	2か所	53回	302人	19回	/	34回	/	196人	106人
	実施地区	実施回数	参加者数	小城市	三日月町	牛津町	芦刈町																																																																											
	20地区	201回	983人	6地区	5地区	4地区	5地区																																																																											
				42回	55回	47回	57回																																																																											
				141人	250人	270人	322人																																																																											
	実施地区	実施回数	参加者数	小城市	三日月町	牛津町	芦刈町																																																																											
	20地区	206回	1,028人	4地区	6地区	4地区	6地区																																																																											
				37回	62回	47回	60回																																																																											
				108人	281人	291人	348人																																																																											
	実施か所	実施回数	参加者数	桜楽館 月・水・金	ゆめりあ 開催なし	アイル 水曜日	ひまわり 開催なし																																																																											
2か所	136回	1,038人	96回	/	40回	/																																																																												
			885人		153人																																																																													
実施か所	実施回数	参加者数	桜楽館 月・水・金	ゆめりあ 開催なし	アイル 水曜日	ひまわり 開催なし																																																																												
2か所	53回	302人	19回	/	34回	/																																																																												
			196人		106人																																																																													
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・気がかりな方などのニーズを発見しても、本人や家族への状況把握のためのアプローチが大変難しいため、関係機関と連携し相談支援に取り組む必要がある。 ・自主サロンの説明や移行支援などを行っているが、高齢になり自主サロンから出前サロンに移行するケースもあった。 																																																																																	

令和6年度事業報告書

事業名	子育て相互支援事業		
日時	通年	担当者	地域福祉推進係 船津・山田
地域福祉 活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進		
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>既存の保育サービスでは応じきれない保育ニーズに応え、安心して子育てできる環境づくりを目指す。病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の預かりなど多様なニーズへの対応を図ることを目的とする。</p> <p>2. 事業</p> <p>①育児の支援を受けたい人と支援できる人が会員となり、ファミリーサポートセンターを仲介として、託児・送迎・家事支援等を会員同士で支え合う援助活動の調整</p> <p>②会員に対して相互援助に必要な講習会の開催</p> <p>③会員の交流を深め、情報交換のための交流会の開催</p> <p>④子育て支援関連施設・事業と連絡調整</p> <p>3. 活動内容</p> <p>①保育施設の時間外や学校の放課後などの子どもの預かり</p> <p>②冠婚葬祭や買い物等外出の際の子どもの預かり</p> <p>③学校・保育施設などの送迎</p> <p>④出産前後の家事支援</p> <p>⑤軽度の病児・病後児の預かり</p> <p>4. 登録者数 利用会員641人、協力会員42人</p> <p>5. 活動実績 1,314件、時間3,780時間56分 (送迎託児3件、送迎363件、託児931件、家事17件) (令和5年度1,484件、時間4,613時間20分)</p> <p>6. 研修会</p> <p>・サポーター養成講座 9月10, 12, 19, 20, 10月2, 7, 10, 11, 17日 11講座に30人参加(新規修了者6人)</p> <p>・協力会員研修 3月15日 小城保健福祉センター「桜楽館」で情報交換会18人参加</p> <p>7. 利用料金</p> <p>平日の8時から18時は原則1時間 400円(利用者負担) (※市から1時間あたり 200円の補助あり)</p>		
特記事項 (反省・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・市外への送迎対応はできていない。 ・送迎の1キロあたり25円は見直しが必要。 ・特別な支援の必要な子どもに対応できるスタッフおよびサポーターのスキル向上をめざす。 ・両方会員や男性会員を増やしたい。 ・待ちの支援からプッシュ型支援やアウトリーチ型支援も視野に入れていく。 ・養育が難しい家庭への支援が増えている。 		

託児のようす

(0歳児)

(2歳児)

(3歳児)

(2歳児)

育児サポーター養成講座

「ファミリーサポートセンターを知ろう」

「ふれあうヨガ」

「育ちあう子育て」

「心育てる読み聞かせ」

令和6年度事業報告書

事業名	地域子育て支援拠点事業		
日時	通年	担当者	地域福祉推進係 木塚・山田・中村(真)
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 交流の場の普及		
実施内容	<p>1. 目的 子育て中の親の孤独感や不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。</p> <p>2. 事業 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言を行う。</p> <p>3. 活動内容 ・桜楽館(小城保健福祉センター) 毎週月曜日・金曜日(10:00～12:00)・水曜日(10:00～15:00) ・ひまわり(芦刈保健福祉センター) 毎週火曜日(10:00～15:00)木曜日(10:00～12:00)</p> <p>4. 活動実績 ・桜楽館 2,549組(大人 2,616人 子ども 3,104人) (令和5年度 2,588組(大人 2,692人 子ども 3,126人)) ・ひまわり 790組(大人 801人 子ども 1,079人) (令和5年度 864組(大人 889人 子ども 1,089人))</p>		
特記事項 (反省・課題)	<p>・核家族化が進行するなか、子育ての悩みを相談できる人がいなく、ひとりで抱え込んでいる人が増えてきている。身近な相談相手になれるようにスタッフやボランティアのスキルアップを図る。</p> <p>・初めて参加した人がまた来たいという雰囲気づくりを大切にしたい。</p> <p>・0歳児の参加が増えている、赤ちゃんサロンや中学生との交流サロンも視野にいれた取り組みを模索したい。</p>		

子育てサロンの様子

(おはなし会)

(親子であそぼう)

(クリスマス会)

(たなばた会)

令和6年度 事業報告

事業名	小城保健福祉センター「桜楽館」の管理・経営														
期 日	通年														
場 所	小城市小城保健福祉センター「桜楽館」 小城市小城町畑田750番地														
総利用人員	40,967人	担当	地域福祉企画課、小城支所												
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 交流の場の普及														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。</p> <p>また、各福祉団体やボランティアグループ及び子育て支援事業の拠点として利用されている「桜楽館」を社協が管理することによって、より以上に地域住民や各種団体と連携・協働が可能になり、小城市地域福祉活動計画に基づく「だれもが心の豊かさと幸せを実感できる健康・福祉のまち 小城」を推進する。</p> <p>2. 管理内容</p> <p>平日、日中の管理人1人と17時から19時及び土・日曜日・「国民の祝日」に対応した日々雇用の職員4人を配置して管理している。その他に管理業務や運営業務は、社協職員が兼務している。</p> <p>3. 利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">利用者数</th> <th style="width: 35%;">利用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和6年度</td> <td style="text-align: center;">40,967人</td> <td style="text-align: center;">1,125,442円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年度</td> <td style="text-align: center;">42,414人</td> <td style="text-align: center;">1,079,636円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">前年対比</td> <td style="text-align: center;">1,447人の減</td> <td style="text-align: center;">45,806円の増</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数	利用料金	令和6年度	40,967人	1,125,442円	令和5年度	42,414人	1,079,636円	前年対比	1,447人の減	45,806円の増
	利用者数	利用料金													
令和6年度	40,967人	1,125,442円													
令和5年度	42,414人	1,079,636円													
前年対比	1,447人の減	45,806円の増													
特記事項 (課題等)	<p>① 経営状況について</p> <p>桜楽館の空調設備の故障で、冷暖房が効かない部屋が多数ある。令和7年度に全面改修工事の予定となっているが、その間利用者に迷惑をかけている。</p> <p>② 災害時自主避難所について</p> <p>令和6年度より拠点避難所は「ゆめぷらっと小城」から「桜楽館」へ変更され、大雨や台風接近により、3回避難所を開設した。</p>														

令和6年度 事業報告

事業名	芦刈保健福祉センター「ひまわり」の管理・経営														
期 日	通年														
場 所	小城市芦刈保健福祉センター「ひまわり」 小城市芦刈町三王崎1522番地														
総利用人員	11, 142人	担当	地域福祉企画課、芦刈支所												
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 交流の場の普及														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。</p> <p>また、各福祉団体やボランティアグループ及び子育て支援事業の拠点として利用されている「ひまわり」を社協が管理することによって、より以上に地域住民や各種団体と連携・協働が可能となり、小城市地域福祉活動計画に基づく「だれもが心の豊かさと幸せを実感できる健康・福祉のまち 小城」を推進する。</p> <p>2. 管理内容</p> <p>平日・日中の管理人1人と17時から19時及び土・日曜日・「国民の祝日」に対応した日々雇用の職員4人を配置して管理している。その他に管理業務や運営業務は、社協職員が兼務している。</p> <p>3. 利用実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 30%;">利用者数</th> <th style="width: 30%;">利用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>11, 142人</td> <td>62, 800円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>12, 229人</td> <td>189, 600円</td> </tr> <tr> <td>前年対比</td> <td>1, 087人の減</td> <td>126, 800円の減</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数	利用料金	令和6年度	11, 142人	62, 800円	令和5年度	12, 229人	189, 600円	前年対比	1, 087人の減	126, 800円の減
	利用者数	利用料金													
令和6年度	11, 142人	62, 800円													
令和5年度	12, 229人	189, 600円													
前年対比	1, 087人の減	126, 800円の減													
特記事項 (課題等)	<p>① 経営状況について</p> <p>ボイラー故障に伴いお風呂の営業を廃止したため、令和7年度より土・日曜日や17時15分以降の利用を予約制とする。また、令和8年度より、集団指導室等の部屋の一部を佐賀県の機関へ貸し出す予定となっている。</p> <p>② 災害時自主避難所の対応について</p> <p>令和6年度は大雨や台風接近に伴い2回自主避難所を開設した。令和7年度も災害発生が予測される場合は、市と協力して避難所開設を行う。</p>														

令和6年度 事業報告

事業名	小城・多久障害者相談支援事業		
期 日	通年	担当者	小城・多久障害者相談支援センター 土岐、佐々木、大垣内、古賀、野中、龍野
設置場所	小城市保健福祉センター「桜楽館」内		
実施地域	小城市・多久市		
地域福祉活動計画	基本目標:安心して暮らせる地域づくり 基本施策:相談支援と権利擁護の推進		

実施内容	<p>1. 事業</p> <p>①障害者相談支援センター事業 ②障害者虐待防止センター事業</p> <p>2. 事業内容</p> <p>障がいのある方、家族等の地域における生活を支援するため、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用、介護相談、権利擁護のために必要な援助、専門機関等の情報提供等を行う。夜間を含めて緊急に対応が必要となる場合における相談支援、関係機関との連絡・調整を行うと共に、障がい者虐待に関する通報届出の窓口や、指定特定相談支援・障害児相談支援として福祉サービスの利用計画の作成等の支援を行う。</p> <p>3. 活動状況</p> <p>(1)総合相談</p> <p>・相談受付件数 延べ3,818件(小城2,762件 多久1,013件 他43件) 【R5年度 4,092件(小城2,902件 多久1,011件 他89件)】</p> <div style="text-align: center;"> <h3>障がい別相談受付件数</h3> <table border="1"> <caption>障がい別相談受付件数 (R6年度)</caption> <thead> <tr> <th>障がい種別</th> <th>小城市</th> <th>多久市</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体</td> <td>286</td> <td>185</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>重症心身</td> <td>73</td> <td>41</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>知的</td> <td>921</td> <td>364</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>精神</td> <td>850</td> <td>226</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>発達</td> <td>307</td> <td>78</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>高次脳</td> <td>50</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>対象障がい別の相談受付で、知的障がいの方の相談が一番多く計1,298件、次に多いのが精神障がいの方の相談で計1,101件、身体障がいの方で472件。 新規相談では、生活困窮者、発達障害児に関する相談が増加傾向にある。</p>	障がい種別	小城市	多久市	その他	身体	286	185	1	重症心身	73	41	0	知的	921	364	13	精神	850	226	25	発達	307	78	1	高次脳	50	15	0	その他	7	6	1
障がい種別	小城市	多久市	その他																														
身体	286	185	1																														
重症心身	73	41	0																														
知的	921	364	13																														
精神	850	226	25																														
発達	307	78	1																														
高次脳	50	15	0																														
その他	7	6	1																														

令和6年度 事業報告

事業名	生活困窮者自立相談支援事業 (生活自立支援センター)	担当者	小城市生活自立支援センター 陣内・永淵・中島																																				
期 日	通年																																						
設置場所	小城保健福祉センター「桜楽館」内																																						
担当地区	小城市内全域																																						
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進																																						
事業内容	<p>平成29年度から小城市より受託し、経済的困窮や社会的孤立をしている者の相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、継続的な支援が必要な対象者に対しては自立支援計画を作成し、生活困窮者の自立の促進を図るための支援を行う。(自立相談支援事業)。</p> <p>また、離職・廃業から2年以内または休業等により収入が減少し、離職等と同程度の状況にあり、住居を喪失した者(またはおそれのある者)に対し、家賃相当分の給付金を支給することにより、これらの者の住居および就労機会の確保に向けた支援を行う(住居確保給付金)。</p> <p>【新規相談件数】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小城</td> <td>三日月</td> <td>牛津</td> <td>芦刈</td> <td>その他</td> <td>合計</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>24件</td> <td>23件</td> <td>23件</td> <td>7件</td> <td>2件</td> <td>79件</td> <td>67件</td> </tr> </table> <p>【相談受付件数(延べ件数)】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小城</td> <td>三日月</td> <td>牛津</td> <td>芦刈</td> <td>その他</td> <td>合計</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>457件</td> <td>241件</td> <td>662件</td> <td>114件</td> <td>279件</td> <td>1,753件</td> <td>1,408件</td> </tr> </table> <p>【住居確保給付金についての相談】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>相談延べ件数</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>申請件数</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>給付決定</td> <td>2件</td> </tr> </table>					小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和5年度	24件	23件	23件	7件	2件	79件	67件	小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和5年度	457件	241件	662件	114件	279件	1,753件	1,408件	相談延べ件数	21件	申請件数	2件	給付決定	2件
小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和5年度																																	
24件	23件	23件	7件	2件	79件	67件																																	
小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和5年度																																	
457件	241件	662件	114件	279件	1,753件	1,408件																																	
相談延べ件数	21件																																						
申請件数	2件																																						
給付決定	2件																																						
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナに加え、物価高騰の影響で生活に困窮する世帯が増え、相談者数は増加傾向にある状況。 ・相談者の課題は複雑化、複合化しており、解決に向けては、地域住民や地域における多様な機関、関係者の連携が不可欠ではあるが、地域の力が必要なケースもあり、今後はインフォーマルな社会資源の開拓に力を入れていく必要がある。 ・特例貸付の償還が始まり、滞納が続く対象者については複合的な課題を抱えている方も多いため、アウトリーチを行って相談機関とつながるように動いていく必要がある。 																																						

令和6年度 事業報告

事業名	成年後見サポートセンター(成年後見制度利用促進に係る中核機関運營業務)
期 日	通年
担 当 者	地域福祉推進係 陣内・大田黒
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援と権利擁護の推進
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>判断能力が不十分な方(認知症高齢者、知的・精神障がい者など)に対して、成年後見制度の利用を促進し、権利擁護や適切な支援を行うことで、安心して暮らせる地域社会を実現することを目的として実施する。</p> <p>2. 事業実績</p> <p>(1)成年後見制度に関する広報及び啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協だより「絆」掲載(2024. 11月号) ・社協HPに成年後見サポートセンターページ開設やパンフレット作成。 ・市広報誌「さくら」(2024. 11月号)・HP掲載 ・各町民生委員児童委員協議会等に広報活動(6回) <p>(2)成年後見制度に関する相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 16件 ・年齢別 65歳以上(12件) 40歳以上～64歳(4件) ・相談内容 <ul style="list-style-type: none"> 財産管理(不動産や預貯金などの管理等) (2件) 契約締結(介護・福祉サービス、施設入所等) (1件) 成年後見制度の概要と成年後見人等の業務 (12件) その他 (1件) ・相談者 <ul style="list-style-type: none"> 本人・親族(3件)介護保険事業所(1件) 指定障害福祉サービス事業所(1件) 地域包括支援センター(6件) 障害者相談支援センター(1件) 行政(福祉事務所等)(3件) 医療機関(1件) <p>(3)会議等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催(令和6年10月1日) <ul style="list-style-type: none"> 小城市成年後見制度利用促進に係る要綱等について 小城市成年後見サポートセンター事業計画(案)について
特記事項	<p>小城市より令和6年10月1日より委託を受け、成年後見制度への理解、また、制度利用が必要な方の早期発見につながるために、相談支援、広報・啓発活動などを行っている。協議会を開催し、成年後見制度の利用促進に向けサポートセンターの運営について協議を図る。</p> <p>今後、相談件数は増える見込みのため、関係機関と連携し適切な支援ができるように努める。</p>

事業内容	<p>尊厳のある生活を行うことができるよう、権利侵害の予防や対応を専門的に 行う。</p> <p>3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p> <p>目的 地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の高齢者の 状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを介護支援専門員 が実践するための地域の基盤を整えるとともに、個々の介護支援専門員へ のサポートを行う。</p> <p>(1) おたっしや本舗小城南地域ケア会議の開催</p> <p>目的 高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備が同時 に図られるため、地域の特性を踏まえた地域包括ケアシステムの実現。 《小城市南部サービスネットワーク部会：通称 ハピネット部会》 ・年2回 開催ハイブリット型研修 参加者延べ人数 66人 会場型研修 参加者延べ人数 31人 《小城市自立支援型ケア会議》 ・年6回開催 参加者延べ人数 165人 《小城市南部地域ケア会議》 ・年3回開催 参加者延べ人数 69人</p> <p>(2) 小城市在宅医療・介護連携推進協議会との連携 ・小城市在宅医療・介護連携推進協議会、啓発・広報部会の委員として参加</p> <p>(3) 民生委員・児童委員連絡協議会定例会への参加 ・牛津町定例会と芦刈町定例会へ毎月参加し、情報共有や相談支援</p> <p>4. 介護予防ケアマネジメント業務</p> <p>目的 基本チェックリスト該当者(事業対象者)、要支援1, 2に対して、介護予防 および日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて、対象者自ら の選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サ ービス等を包括的・効率的にマネジメントを行う。</p> <p>5. 生活支援コーディネーター業務</p> <p>目的 市町村が定める活動区域ごとに、関係者のネットワークや既存の取り組 み、組織等活用しながらコーディネート業務を実施することより、地域におけ る生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進。</p> <p>(1) 協議体での活動</p>
------	---

事業内容

- ・第1層協議体 令和6年度開催なし
 - ・第2層協議体 牛津町年5回 芦刈町年4回開催
- (2) 地域づくりの啓発活動
- (3) 地域資源の把握、ニーズ確認
- ・定期的に地域サロンや高齢者の集いの場への参加

6. 認知症地域支援業務

目的

認知症の人とその家族の支援体制の構築および認知症ケアの向上を図る
取組み推進。

- (1) 医療、介護サービス、地域との有機的な連携の推進
- (2) 認知症ケアパス更新
- (3) 認知症本人、家族の居場所づくりの推進
(カフェ、サロンの啓発 随時 地域型認知症サロン 1ヶ所開催)
- (4) 認知症やその家族の相談や支援
- (5) 認知症初期集中支援チーム検討会

7. チームオレンジコーディネーター業務

目的

認知症当事者も地域を支える一員として活躍し、社会参加することを後押しす
るとともに、認知症サポーターの更なる活躍の場を整備する。

- (1) 仕組みづくりに関する検討会の開催
・オレンジ座談会、情報交換会(年13回開催)
- (2) チームの立ち上げ支援基盤づくり
・認知症サポーター養成講座(年2回)、ステップアップ講座の開催(年1回)

II 指定介護予防支援事業

指定介護予防支援実績

	令和6年度	令和5年度
介護予防給付件数 (事業委託分を含む)	2,870件	2,639件
要介護認定調査委託	7件	7件
住宅改修支援	10件	8件

令和6年度 事業報告

事業名	居宅介護支援事業		
所在地	小城市芦刈町三王崎1522番地（芦刈保健福祉センター ひまわり）		
対象者	介護保険 要介護認定者		
事業の種類	居宅介護支援	担当者	地域生活支援課 牧瀬、石丸、卯野木
営業時間	月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分 但し、国民の祝日及び12月29日から1月3日までを除く		
運営方針	利用者・家族の意向を尊重し、中立公正な自立支援		
職員体制	介護支援専門員 3人《その内 1名兼務》		
実施地域	小城市内(原則)		
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 在宅医療・介護の連携と生活支援の充実		
実施内容	<p>1. 方針</p> <p>①常に利用者の立場になり、利用者が住み慣れた環境の中で、自分らしく、尊厳ある生活ができるように、自立への支援に努める。</p> <p>②利用者・家族の意向や心身の状態を考慮し、保険者・地域包括支援センター・医療機関・サービス事業所等とも連携を図り、支援する。</p> <p>2. 内容</p> <p>・相談援助、ケアプラン作成、サービス調整、更新認定調査等</p> <p>3. 利用者</p> <p>・利用者 81人(令和5年度 85人) ・契約者 86人(令和5年度 90人)</p> <p>4. 実績</p> <p>① 居宅介護支援 年間 延987人(令和5年度 延べ1,032人) <介護度別>介護1 延432人 介護2 延233人 介護3 延198人 介護4 延 68人 介護5 延56人</p> <p>② 介護認定調査 年間 2件 (令和5年度 9件)</p> <p>5. 介護支援の流れ</p> <p>①介護申請→認定調査→介護認定→居宅介護支援の契約</p> <p>②利用者や家族に意向確認→ケアプラン作成→サービス調整→サービス担当者会議→サービス利用開始→自宅に定期訪問→モニタリング(評価)・来月の利用票配布(利用確認)→介護請求</p> <p>③ 住宅改修の支援、福祉用具の購入支援、更新認定調査、相談援助等</p> <p>6. 介護支援専門員の研修に参加、自立支援型ケア会議への参加 小城市南部サービスネットワーク部会への参加</p>		
特記事項(課題等)	<p>・利用者の意向を尊重しながら、介護保険サービス・インフォーマルサービス等を総合的かつ効果的に提供されるよう配慮し、課題を見極め、適切な自己選択により利用者本意のケアプランが作成できるよう努めていく。</p> <p>・利用者の多様化するニーズにお応えできるよう、各種研修等への参加により専門知識を広め、日々の自己点検により適切なケアマネジメントを行えるように自己研鑽に努めていく。</p> <p>・BCP(事業継続計画)の運用 感染症や災害が発生した場合であっても利用者に必要なサービスが安定的継続的に提供されるよう年に1回以上は、研修、机上訓練を行い、BCPの見直し、改善を図る。</p>		